

# ハンディスティック 建築用接着剤 #H450G



- この1本で断熱パネル約10枚の貼り付けが可能
- ノンフロンガス使用の環境対応商品
- F☆☆☆☆認定、4VOC基準適合のシックハウス対策商品



## Fomo Japan

A Member of the FLM Group of Companies

#H400G (680g)  
仕様：4本/ケース



パネルの接着



その他接着一般



簡単な隙間充填も可能

### 商品仕様

| 項目    | 数値                    | 備考          |
|-------|-----------------------|-------------|
| 内容量   | 680g/本                |             |
| 収量    | 46リットル/本              | 社内試験        |
| 可能塗布量 | 約200メートル/本<br>(15mm径) | 社内試験        |
| 入り数   | 4本/ケース                |             |
| 使用方法  | 専用ガンを利用して<br>液を吐出     |             |
| 使用ガス  | LPG/DME<br>(ノンフロンガス)  | 日本エアゾール協会試験 |



1液性専用ガン  
#780

取っ手とトリガー部分は樹脂製、その他の部分は金属で構成されています。

ウレタン専用クリーナー  
ハンディクリーナー

#500 (340g)

専用ガンの先端、ガン内部の洗浄用

総輸入販売元  
フォモ・ジャパン株式会社

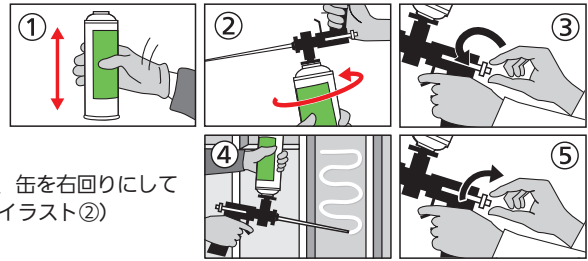
〒106-0047 東京都港区南麻布 4-11-22 南麻布 T&F ビル 8F  
Tel: 03-5789-7960 Fax: 03-5789-7901 Email: info@fomo.co.jp  
HP: www.fomo.co.jp

# ハンディスティック建築用接着剤 #H450G について

ハンディスティック建築用接着剤 #H450G は、断熱・気密用途として知られている 1 液性硬質発泡ウレタンフォームの接着性能を強化した建築用接着剤です。各種パネル、発泡スチロール、石膏ボード、木材、コンクリート、レンガなどほとんどの建築材料に強力に接着します（ポリエチレン、テフロン、シリコン、油分などには接着しませんのでご注意ください）。溶剤を使用していないので、各種パネルや発泡スチロールを溶かすこともありません。また、パネルの目地に充填することにより、1 液性硬質ウレタンフォームの本来の用途である、断熱・気密材としてもご利用頂けます。

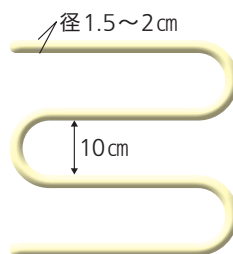
## 使用方法

- 使用時にはマスク、防護メガネ、作業着、手袋等を着用してください。
- 使用場所の換気を良くしてください。
- 施工箇所以外に付着しないように、施工箇所以外は養生を行ってください。
- 接着箇所のほこり、油分等を除去してから使用してください。
- 使用する前に 20 回程、缶の中の液を混ぜるように振ってください。（イラスト①）
- 使用時の缶の温度は 18～27℃ が最適です。湿度は 40% 以上が最適です。
- 別売りのガンを缶にねじ込んでください。ガンを逆さまにして、缶を正立にして、缶を右回りにしてねじ込みます。この際、缶をあまり強く締め付けないように注意してください。（イラスト②）
- ガンの後部の量調整スクリューで吐出量を調整出来ます。（イラスト③）
- 缶を倒立にして、ガンの引き金を引くと液が吐出します。（イラスト④）
- 下地材に塗布後、3分以内にパネルなどを張り合わせ、その後ネジ、留め釘などで仮押さえをしてください。仮押さえは完全接着時間（24時間）が経過するまで取り除かないでください。
- 作業後はガンの量調整スクリューを締めてください。ガンの引き金が閉まり不意の噴射を防止します。（イラスト⑤）
- 吐出したウレタンフォームが固まっていない時は専用クリーナーで溶かすことができます。固まってしまうと溶かす液はありませんので、削り取るなどしてください。（液の硬化は吐出後、2～3分で始まります）
- この商品は空気中の湿度分と反応して発泡・硬化します。極端に乾燥した状況では、下地材に霧吹き状に水分を供給すると、発泡・硬化を助けます。
- 隙間充填として使用する場合、1回の注入、充填の発泡厚みは 20～30 ミリにしてください。それ以上充填すると、内部に水分が浸透せず硬化不良になる可能性がありますので注意してください。
- 隙間充填として使用する場合も、極端に乾燥した状況では下地材や吐出後のウレタンフォームに霧吹き状に水分を供給すると発泡・硬化を助けます。
- 隙間が 50 ミリ以上の場合は、20～30 ミリの注入、充填を数回に分けて行ってください。この場合、最初の層の硬化（液吐出後、約 1 時間後）を確認してから、次の層の充填を行ってください。
- 硬化したウレタンフォームは紫外線にあたり劣化します。直射日光にあたる場所への施工の場合は、内部硬化後（液吐出後、約 1 時間後）にパテや塗料などで表面を処理してください。紫外線による劣化を防ぎます。



## 施工手順

- 1 下地材にジグザグを描くようにフォームを塗布してください。この際、フォームの直径は 1.5～2.0cm、フォームとフォームの間隔は 10cm が目安です。



- 2 フォーム塗布後 3分以内に仕上材を張り合わせてください。仕上材を張り合わせた後、ネジ、留め釘などで仮押さえをしてください。仮押さえは 24時間は取り除かないでください。



## 性能

| 試験項目            | 単位         | 性能   | 適合基準 | 試験方法           |                         |
|-----------------|------------|--|------|----------------|-------------------------|
| 引張接着強さ          | 標準条件 (*1)  | N/mm <sup>2</sup>                          | 0.51 | 0.2 以上         | JIS A5547 に準じ建材試験センターにて |
|                 | 高温状態 (*2)  | N/mm <sup>2</sup>                          | 0.45 | 0.2 以上         |                         |
|                 | 水中浸せき (*3) | N/mm <sup>2</sup>                          | 0.40 | 0.1 以上         |                         |
|                 | 低温状態 (*4)  | N/mm <sup>2</sup>                          | 0.47 | 0.2 以上         |                         |
| 侵食性             |            | 異常なし                                       |      | 同上             |                         |
| 耐熱クリープ          |            | 異常なし                                       |      | 同上             |                         |
| 貼付可能時間          | 液吐出後       | 3分   |      | 社内試験           |                         |
| 硬化時間            | 液吐出後       | 24時間                                       |      | 同上             |                         |
| 完全接着            | 液吐出後       | 7日   |      | 同上             |                         |
| 熱伝導率(隙間充填用途の場合) | W/mK       | 0.038                                      |      | ASTM C518 社内試験 |                         |
| その他             |            | JAIA-009948 F☆☆☆☆<br>JAIA-403802 4VOC 基準適合 |      | 日本接着剤工業会       |                         |

(\*1): 23℃ (\*2): 50℃ (\*3): 23℃ (\*4): 5℃

### 問い合わせ先

製品改良のため予告なく仕様等が変わることがあります